

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社コニカミノルタサプライズ					
代表者名	氏名	磯部 祐作	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	山梨県甲府市宮原町303番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	32 その他の製造業				
主たる事業の概要	複写機用消耗資材（トナー）の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	4,562	4,425	3,715	3,406	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	8,718	8,456	7,096	6,498	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	2		2	2	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	2				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2021	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.konicaminolta.com/jp-ja/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

コニカミノルタの中期環境計画に基づき、弊社の環境目標を定めて、進捗管理を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

①「温暖化対策責任者」：ME技術部長
②「温暖化対策担当者」：辰野工場生産技術課
③「計画書提出担当者」：ME技術部甲府ユーティリティ

**エネルギー管理組織
(環境管理組織)**

The organizational chart shows the following structure:

- 社長 (President)
- 環境管理委員会 (Environmental Management Committee)
- 常務取締役 (General Manager)
- 甲府本社 (Kofu Head Office)
 - 甲府工場 (Kofu Plant)
 - NP生産部 (NP Production Dept)
 - GI生産部 (GI Production Dept)
 - 生産技術部 (Production Technology Dept)
 - ME技術部 (ME Technology Dept) - circled with 1
 - 安全品質保証部 (Safety & Quality Assurance Dept)
 - 生産管理部 (Production Management Dept)
 - 企画管理部 (Planning & Management Dept)
 - ME技術部 (ME Technology Dept) - circled with 3
 - 品質保証部 (Quality Assurance Dept)
 - 安全QA部 (Safety QA Dept)
 - 生産管理部 (Production Management Dept)
 - 物流部 (Logistics Dept)
 - 情報部 (Information Dept)
 - 研究開発部 (R&D Dept)
 - 人事総務部 (HR & General Affairs Dept)
- 西神工場 (Nishino Plant)
 - 工場長 (Plant Manager)
 - ME技術部 (ME Technology Dept)
 - 品質保証部 (Quality Assurance Dept)
 - 生産管理部 (Production Management Dept)
 - 研究開発部 (R&D Dept)
 - 人事総務部 (HR & General Affairs Dept)
 - 生産課 (Production Section)
- 辰野工場 (Tachibana Plant)
 - 工場長 (Plant Manager)
 - ME技術部 (ME Technology Dept)
 - 品質保証部 (Quality Assurance Dept)
 - 人事総務部 (HR & General Affairs Dept)
 - 生産技術課 (Production Technology Section) - circled with 2
 - 生産課 (Production Section)

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

・ コニカミノルタサプライズ環境四半期報告書にて3ヶ月毎に各部門に報告。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	8,718	t-CO ₂	原材料額	4,078.00	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	8,718	t-CO ₂	基準原単位	2.14	t-CO ₂ /	百万円
目標年度	目標排出量	8,456	t-CO ₂	目標原単位	2.08	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	1年で1%、3年間で3%の抑制目標を達成するべく、生産効率化を展開していく。またピークカットの取組みを進めていく。						
第一年度	排出量	7,096	t-CO ₂	原材料額	3,059.00	単位	百万円
	削減率	18.60	%	原単位	2.32	t-CO ₂ /	百万円
2020年度	調整後排出量	7,096	t-CO ₂	原単位削減率	-8.42	%	
	削減率	18.60	%				
排出量等の増減理由	新型コロナウイルス感染拡大及び緊急事態宣言の影響による原材料額（生産量）の減少。それに伴う工場稼働率の低下。工程トラブルによる原材料額（生産量）の低下。工程トラブルはR2年度内に解決済み。						
第二年度	排出量	6,498	t-CO ₂	原材料額	2,665.00	単位	百万円
	削減率	25.46	%	原単位	2.44	t-CO ₂ /	百万円
2021年度	調整後排出量	6,498	t-CO ₂	原単位削減率	-14.02	%	
	削減率	25.46	%				
排出量等の増減理由	2021年7月と8月に発生した粉じん爆発による設備の確認。確認による約4ヶ月間の長期間生産停止による生産量減少。						
第三年度	排出量		t-CO ₂	原材料額		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310500	生産ラインの新品種対応による生産効率維持-1	2020	32	2020	32
2	エネ起	310500	生産ラインの新品種対応による生産効率維持-2	2022	32		
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	8,718	1	7,096	1	6,498		
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	8,718	1	7,096	1	6,498		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	
合計	0	0	0	0
自動車総数	2	2	2	
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特に無し。
自転車の利用促進	特に無し。
来客者の交通対策	特に無し。
物流の合理化	特に無し。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001(JQA)	2006
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

特に無し。
